

2025年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	造形学科	履修者数	713
		回答者数	462

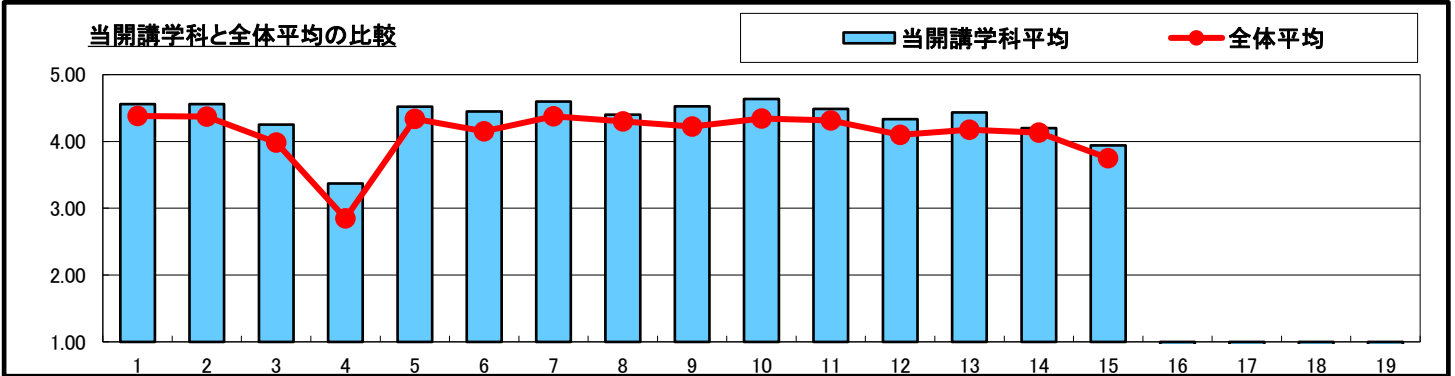
学年 マーク	回答者数／構成比（％）				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	151 32.7	182 39.4	115 24.9	14 3.0	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比（％）					有効 回答	無効 回答	
			5	4	3	2	1			
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
▼全学部共通の質問項目										
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.56	294	145	14	6	3	462	0	
			63.6	31.4	3.0	1.3	0.6			
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.56	300	130	25	5	2	462	0	
			64.9	28.1	5.4	1.1	0.4			
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.25	206	179	59	16	0	460	2	
			44.8	38.9	12.8	3.5	0.0			

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.37	2時間以上 137 29.8	1時間以上 2時間未満 75 16.3	30分以上 1時間未満 122 26.6	30分未満 71 15.5	全くして いない 54 11.8	459	3
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.52	291 63.4	124 27.0	39 8.5	2 0.4	3 0.7	459	3
6	この科目の難易度は適切であった	4.45	258 56.0	158 34.3	38 8.2	7 1.5	0 0.0	461	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.60	306 66.2	129 27.9	25 5.4	2 0.4	0 0.0	462	0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.40	254 55.1	148 32.1	51 11.1	6 1.3	2 0.4	461	1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.53	315 69.5	88 19.4	31 6.8	12 2.6	7 1.5	453	9

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.63	319 69.0	122 26.4	17 3.7	3 0.6	1 0.2	462	0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.49	274 59.4	142 30.8	41 8.9	4 0.9	0 0.0	461	1
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.33	247 53.6	136 29.5	65 14.1	11 2.4	2 0.4	461	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.44	258 56.0	151 32.8	47 10.2	5 1.1	0 0.0	461	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.20	215 46.7	139 30.2	92 20.0	11 2.4	3 0.7	460	2
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.94	十分に 読んだ 159 34.4	よく読んだ 178 38.5	どちらとも いえない 79 17.1	ほとんど 読まなかった 31 6.7	全く読んで いない 15 3.2	462	0

▼学科設問									
16		-	0	0	0	0	0	0	462
17		-	0	0	0	0	0	0	462
18		-	0	0	0	0	0	0	462
19		-	0	0	0	0	0	0	462



2025 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	造形学科
講評者	造形学科長 山本浩二

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境、クラスサイズ、グループサイズは概ね適切であった。学生の取り組み熱意について、大学全体の結果よりも造形学部学生の方が熱心に取り組んでいる様子が窺える。実技授業が多いということもあり、教室の使い方に関して作業可能な収容人数を検討して科目を配置しているということと、大教室に詰め込むような授業がほとんどないということがこれらの数字に現れていると思われる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	時間外学修については大学全体と同様、全くしていないという回答が 11.8%と 2 桁に達しているが、逆に 2 時間以上という回答は 29.8%と大学全体の 10.9%を大きく上回っている。おおよそシラバスに即した内容であることが窺えるが、少数ながら即していないと感じている学生もいる。難易度は適正であり、自らの学びを深める上で役に立っている。授業形態については対面かオンラインのどちらか判別できないが、若干不満もある。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員の話し方は特に問題なく板書も同様で、板書についての数字はほぼ大学全体と同じである。学生に発表の機会を設けているかという設問について、あまりなされていないという回答が少数ではあるが見られた。学生の反応や理解を確認しながら授業を行なっているかという設問に対しては 1 の回答率が 0%となっており、丁寧に授業を行なっている様子が窺える。シラバスを読んだかという設問は大学全体と同様、ほとんど読まなかったか読んでいないという回答が 1 割を超えている。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	